

進捗状況報告シート

(2010年度・大学)

担当部局は☆印の箇所を記入のこと。

I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	商学部
大項目	6 教育内容・方法・成果
中項目	6.1 教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針
小項目	6.1.1 教育目標に基づき学位授与方針を明示しているか。
要素	学士課程・修士課程・博士課程・専門職学位課程の教育目標の明示 教育目標と学位授与方針との整合性 修得すべき学習成果の明示
小項目	6.1.2 教育目標に基づき教育課程の編成・実施方針を明示しているか。
要素	教育目標・学位授与方針と整合性のある教育課程の編成・実施方針の明示 科目区分、必修・選択の別、単位数等の明示
小項目	6.1.3 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針が、大学構成員（教職員および学生等）に周知され、社会に公表されているか。
要素	周知方法と有効性 社会への公表方法
小項目	6.1.4 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針の適切性について定期的に検証を行っているか。
要素	

II. 自己点検・評価《進捗状況報告》

【現状の説明】

《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定した。

目標の進捗状況は「A:適切に実行している」「B:概ね実行している」「C:必ずしも実行していない」「D:実行していない」とし、自ら評価した。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
1. 教育目標を達成すべく、専門科目の2単位化、専門基礎教育の強化、演習科目の再構築、進級条件の設定、卒業要件の変更など、教育課程を見直す。	→教育課程に係わる規程等の改正	B
2. 寄附講座等、産業界との連携による実学的講座の拡充する。	→寄附講座の開講数、受講者数および授業評価結果、講演会・セミナーなどの開催数	B
3. 教育課程再編成の効果と問題点を継続的に評価し改善する。	→点検・評価活動に関する研究会の開催数および改善策の提言・実施状況、教員および学生による授業評価結果、GPA・平均点の状況	B

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
	→	☆
	→	☆

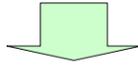
《小項目ごとの現状説明》 ※ 全小項目について記述が必要

☆ 小項目6.1.1	(方針) 学士課程の教育目標、学位授与方針および修得すべき学習成果をより明確に示し、それら方針と実施の適切性について定期的に検証する。 (現状説明) 2012年度からの実施を目標に現在、教育課程、カリキュラムの改正作業を進めている。上記の課題については、その作業の中で検討中である。
☆ 小項目6.1.2	(現状説明) 2012年度からの実施を目標に現在進めている教育課程等の改正作業の中で検討中である。
☆ 小項目6.1.3	すでに教育目標の提示は行っているが、2012年度からの実施を目標に現在進めている教育課程等の改正作業の中で引き続き検討予定である。
☆ 小項目6.1.4	適切性については、2012年度からの実施を目標に現在進めている教育課程等の改正作業の中で検討予定である。
☆ その他	

◎効果が上がっている事項

【点検・評価 (1)】効果が上がっている事項

小項目6.1.1	
小項目6.1.2	
☆ 小項目6.1.3	
小項目6.1.4	
その他	



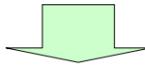
【次年度に向けた方策(1)】伸長させるための方策

小項目6.1.1	
小項目6.1.2	
☆ 小項目6.1.3	
小項目6.1.4	
その他	

◎改善すべき事項

【点検・評価 (2)】改善すべき事項

小項目6.1.1	
小項目6.1.2	
☆ 小項目6.1.3	
小項目6.1.4	
その他	



【次年度に向けた方策(2)】改善方策

小項目6.1.1	
小項目6.1.2	
☆ 小項目6.1.3	
小項目6.1.4	
その他	

◎自由記述

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】

☆ その他 (自由記述)	
-----------------	--

Ⅲ. 学内第三者評価

＜評価推進委員会からの評価＞（実務作業は評価専門委員会、評価情報分析室、企画室）

【学外委員】

○評価項目6.1は、教育目標等を学内外に公表して、それののっとして教育課程を編成し、学生を教育しているかどうかを問うものなので、「現状説明」にある「教育課程等の改正作業の中で適切性を検討する」では、順序が逆のように思われます。教育目標が公表され、それに即した教育課程編成や学位授与が行なわれて、そこで見えてきた問題点があれば、教育目標等に立ち戻って適切性を検討するというプロセスが望まれます。

【学内委員】

○自己点検・評価は、本学の状況や考え方を社会にわかり易く説明する役割もあります。また、認証評価につなげることも視野に置く必要があります。加えて、本シートを見ればある程度のこととわかる必要があります。そのためにも、全小項目についてもう少し詳しく現状説明されることを希望します。

○小項目6.1.1.の（方針）は学位授与方針を書いてください。なければ「なし」と記載し、その上で（現状説明）してください。また、目標設定されていませんが、もし設定されていなければ目標を追加設定されることが望ましいでしょう。なお、記述された内容は、小項目6.1.4で記述してください。6.1.2も同様です。

○小項目6.1.1の現状説明の（方針）は、方針そのものの記述になっていません。

○小項目6.1.3で教育目標は既に提示されているとのこと。その内容について小項目6.1.1.で明示してください。

○教育課程、カリキュラムの改訂作業中であるとのことですので、改善すべき事項にも問題点などを記述されることを望みます。

○現在、大幅なカリキュラム改編の作業中であると理解しており、その成果に期待します。しかしながら、現状で可能な説明については、出来る限り記述してください。

Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

- ★ 6.1.1(方針)として、大学学則に明記された商学部の教育理念・教育目的に拠り、学位が授与されている。新カリキュラムの中で、GPA利用による表彰制度の充実を検討している。学習と履修の手引きならびにweb他を通じて、学部の教育理念ならびに教育方針を明示している。
- 現行カリキュラムの問題点としては、たとえば、3年春学期ないし秋学期の終了時点で卒業要件をほぼ充足している学生が少なからず見受けられ、4年間を通じた教育に支障が生じていることが指摘されている。

Ⅴ. 本項目の評価指標

＜全学的な指標＞

6.1.0.S1	カリキュラムの編成や体系等を常に検討する委員会の有無と開催頻度
6.1.0.S2	MDSプログラム履修者の全学生に占める割合
6.1.0.S3	ジョイント・ディグリー制度への参加者の全学生に占める割合
6.1.0.S4	専門教育、教養教育、外国語教育、情報教育等ごとの授業科目開設数
6.1.0.S5	必修・選択ごとの開設授業科目数
6.1.0.S6	系列別卒業必要単位数

＜個別的な指標＞
